

記憶のふしぎ

日曜の朝 音楽の泉の番組がある

クラシックなどよく知っているが

きいていいねと気分がよい

どうしてこのように音が頭にうかいて

来たらどうするときいている

最後に流れたのが 丘しかべーとイェの

アと知しえ カとタービ ~~た~~ だった

それ知っていたら 知っていたら

十三才のころの記憶がとと流れて来た

親の家の行って来た

海 ^{すそ} 仕事にノいていたんが 音楽が 趣味

どの曲のかわからぬコードをきかせたくれた

そして一枚のレコードも どの曲か

といふれ わかうかい と言つたり

今ふしえたばかりでなく

はずかしさとかやしさを

さつさと帰つてしまつた

それがアとがと 手 カニタービ ~~た~~ なりだ

そのふしと 思い出したときなど

午かゝた

たましく流れて来
たメロデーに

昔を想ひ出し
たのび

記憶をとこし
さいこいこい
でいあのであろう

もうひとつ
こいん存
こともあつた

又ト、
ブをばう
ことなある

スイワ
キをいれ
るとあは
たかしの
風が来る

だのた
つめたい
風が来る

もう一
度スイワ
キを入
れしめる

やはり
つめたい
風だ

とうし
たのび
まつた
くおろ
よくと
てと

思ふに
この言葉
昔去りの
職人の

二とば
たその
職人よ
くこの
二とば
をばう
て

いん
それか
ひまの
と出て
来たの
だ

記憶
つて
本当
に
不思議
だ

2022
5/4